



# ガスファンヒーター

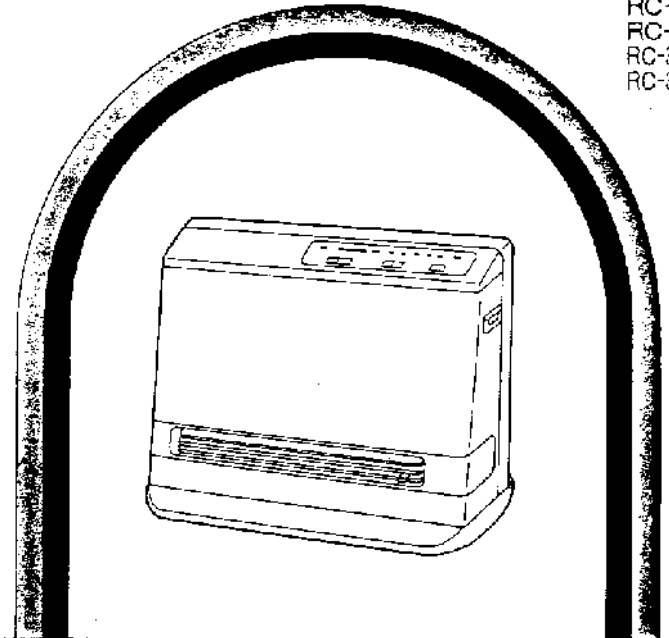
## 取扱説明書

43-704-990-992-994-996-998

43-705-991-993-995-997-999 型

保証書付

形式の呼び / RC-205-1  
RC-205-2  
RC-307-1  
RC-307-1A  
RC-307-2A



### 本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

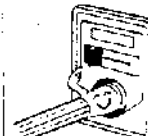
本社・ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市東区平野5-1-1	☎大阪 06 (202) 2221
南 支 社	〒557 大阪市西成区玉出2-2-10	☎大阪 06 (662) 0091
北 支 社	〒532 大阪市淀川区1-3-1	☎大阪 06 (301) 1251
堺 支 社	〒590 堺市住吉南2-2-2	☎堺 0722(35) 1131
北 摂 支 社	〒569 高槻市藤の里3-9-6	☎高槻 0726(71) 0331
阪 神 支 社	〒462 西宮市東上田4-4-1	☎西宮 0798(25) 3101
東 部 支 社	〒678 茨木市山崎2-2-1	☎河内 0725(52) 1131
京 阪 支 社	〒573 岸和田市西宮町1-6番17号	☎岸和田 0720(41) 1251
神 戸 支 社	〒950 神戸市中央区相生町5丁目15番1号	☎神戸 078(576) 5281
京 都 支 社	〒604 京都市中京区河原町西側3-5-5	☎京 都 075(231) 3151
香 川 支 社	〒657 香川県高松市北2丁目4番1号	☎高松 0742(44) 1411
和 歌 山 支 社	〒640 和歌山市本町1丁目1	☎和歌山 0734(31) 2481
新 潟 支 社	〒970 新潟市中央区4丁目5	☎新潟 0752(85) 2221
東 横 支 社	〒875 茨城県水戸市2-9-1	☎水戸 0274(21) 1601
豊 岡 支 社	〒658 豊岡市二坂6丁目5-7	☎豊岡 0795(33) 2221
湖 東 支 社	〒525 滋賀県彦根市6-8-0	☎彦根 0775(82) 5311
藤 枝 支 社	〒522 藤枝市大塚町1-2番11号	☎藤枝 0749(22) 3131
長 浜 支 社	〒536 長浜市岡田町3番4号	☎長浜 0748(62) 7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社



ガスゴム管も  
とさどき点検  
よいゴム管を  
カッチリと



ガス器具を  
適宜に点検  
あとは必ず  
ガス元栓も  
明確な留痕を



**換気必要**  
30分に1回  
1分間程度



ガス器具は  
ガスの種類  
にあつた  
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

## ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスファンヒーターをお求めいただきありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

## 目次

- 各部の名称.....1
- 特に注意していただきたいこと.....2
- 器具の設置.....7
- 使用手順.....8
- 日常の点検・手入れ.....13
- 故障異常の見分け方と処置方法.....15
- 使用時のご注意  
(安全装置が作動したときの処置方法).....16
- 長期間使用しない場合.....18
- アフターサービスのお申し込み.....19
- 特 長.....20
- 寸法図と仕様一覧表.....21

## 換気にご注意

この器具は、強制給排気式（FF式）ではありませんので換気が必要です。

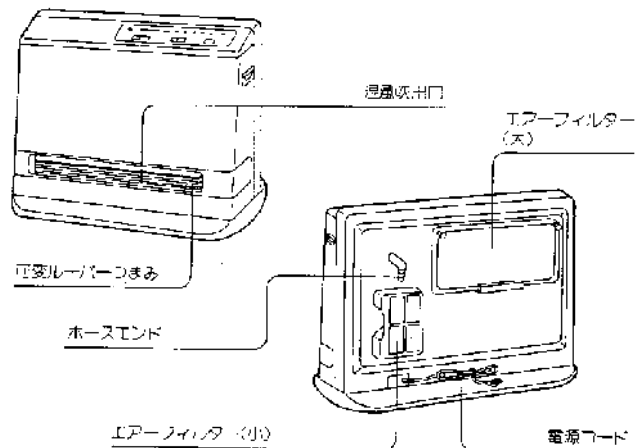
## 各部の名称

### 操作部

エアフィルター (大)	室温ランプ (赤)	ウォームアップランプ (青)	急速ランプ (赤)	運転ランプ (赤)
エアファンターを掃除可能な形式となるランプです。	設定室温は表示し、現在室温が手動設定表示します。	ウォームアップ動作が開始されたことを示すランプです。	急速運転がスタートしていることを示すランプです。	暖房の運転が開始されたことを示すランプです。



室温調節スイッチ	ウォームアップスイッチ	急速スイッチ	運転ランプ (赤)	急停止スイッチ
設定温度を調節可能な形式となるランプです。	ウォームアップ動作を開始するスイッチです。	急速運転を開始するスイッチです。	暖房中であることを示すランプです。	急停止スイッチは、電源を切るために使用します。



## 特に注意していただきたいこと

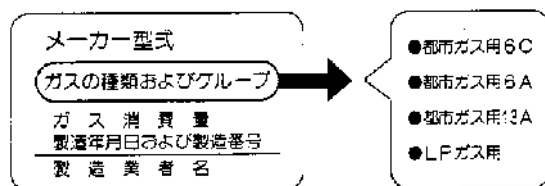
安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

### 使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体の背面にはついている銘板（シベル）に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかを必ず確かめてください。

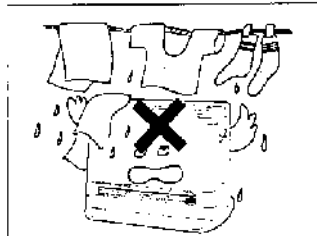
（銘板）



- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

### 用途についてのご注意

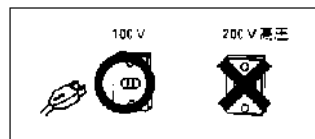
- 標榜以外の用途（衣類の乾燥など）には使用しないでください。  
衣類などを器具の上に置いたりすると、温風の出口や吸込口がふさがれてしまい、器具内に熱がたまり操作部の変形等器具に悪影響を及ぼすおそれがあり、でなく異常過熱し火災危険です。



## 特に注意していただきたいこと②

### 使用電源についてのご注意

- 電源の電圧と周波数を確かめてください。  
この器具はAC 100V、50ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかを確かめてください。

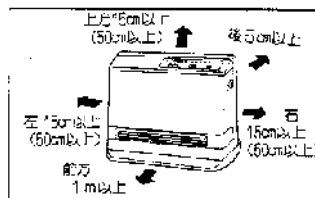


#### <ご注意>

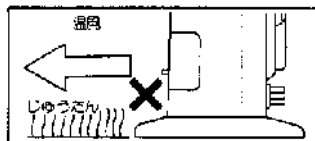
ガスの種類や電源の周波数が異なる地域へ転居される場合には、器具の交換や調整が必要となります。この場合に要する費用は保証期間内でも有料となります。

### 使用場所についてのご注意

- 理・美容院、メッキ・塗装工場、繊維関係の工場などスプレーや化学薬品を使用する場所および埃ほこりの多い場所でのご使用はお避けください。器具の故障や腐食性ガスの発生により鏡、ガラスなどを汚損する原因となります。
- 家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のものからは、じゅうたんに離してください。後の壁から5cm、頃の壁または上方のうちいずれか一方は50cm、あとは15cm、前方1m以内に家具、建具などの障害物のない位置を選んでください。
- 器具の使用場所は、お部屋の元せんの近くをお選びください。  
ゴムの長くとると、あやまってふんだりひつかれたりする恐れがありますので、できるだけ、元せんの近くで使用してください。（3m以内）



- 強い風の吹き込み所では使用しないでください。  
炎が弱く消えることがあります。換気をするときにも、強い風が当たらないようご注意ください。
- 毛足の長いじゅうたんに置く場合は、敷き板等を敷いてください。  
温風がじゅうたんにあたり、変色する恐れがあります。

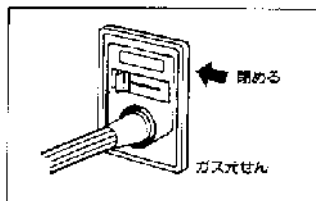
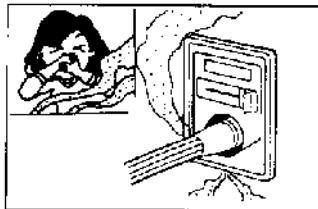


## 特に注意していただきたいこと③

### 使用上のご注意

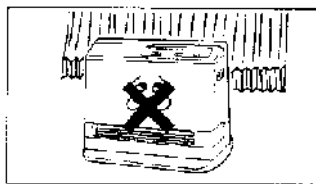
#### ガス漏れ予防

- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニル管は絶対に使用しないでください。ビニル管は弾力性がなく、熱にも強くありません。
- ゴム管は良質のものを用い、使用3年位を目安にとりかえてください。古くなりますと、抜けやすくなったりヒビ割れて、ガス漏れの原因になり危険です。
- 使用後は必ず運転スイッチを「切」にし消火したことを確かめてください。
- お出かけやおやすみの際には、ガス元せんも必ず閉じてください。



#### 火災予防

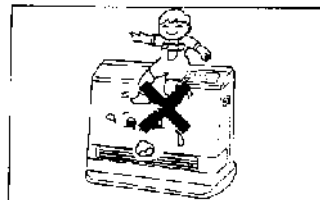
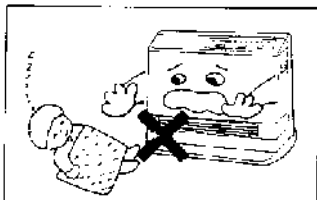
- 器具の上やそばに、燃えやすいもの（紙、カーテン、家具、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。また、紙、布、など可燃物を温風吹出口や吸込口に入れないでください。火災の恐れがあります。
- ヘアスプレーなど引火物を、器具の近くで使用しないでください。炎は見えませんが、引火する恐れがあります。
- 火をつけたまま器具を移動させないでください。ゴム管が折れ曲がったり、抜けたりして危険です。
- 外出、就寝時には必ず消火してください。



## 特に注意していただきたいこと④

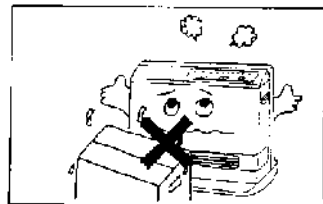
### やけどのご注意

- ご使用中および使用直後は、温風吹出口とその周辺およびエアフィルター部は熱くなりやけどの恐れがありますので、手を触れたりしないでください。特に、小さなお子様がいらっしゃるご家庭はご注意ください。また、小さなお子様が勝手に点火操作をしないようご注意ください。
- 温風をじかに長時間お体にあてますとやけどのおそれがあります。特に乳幼児、お子様、お年寄り、病氣の方などがお使いになるときは、周囲の方が注意してあげてください。
- 器具の上に置かけたり乗ったりしないでください。やけどや器具の変形の原因になります。



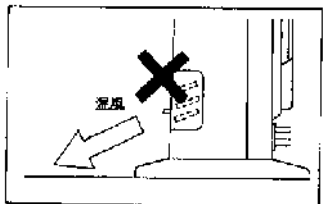
### 過熱防止

- 温風吹出口の前に物を置いたり、器具の後面（エアフィルター部）をふさいでりしないでください。異常過熱して、器具に悪影響をおよぼすばかりでなく、お部屋が暖まらないこともあります。



### 温風吹出口のご注意

- 温風吹出口のルーバーの角度を故意に可変角度以上変えないでください。床（カーペット等）が変色したり器具の故障の原因となります。必ず可変角度以内でご使用ください。



## 特に注意していただきたいこと⑤

### ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ガス元せんを閉じ、窓や戸を全部あけて、ガスを外へ出してから、もよりの大板ガス支社にご連絡ください。
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具に触れたり（スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。火や火花で引火し爆発事故を起こす危険性があります。

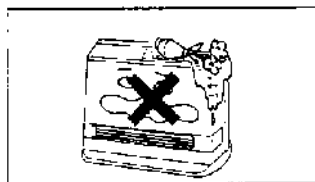
### 換気のご注意

- 使用中は30分に1回、1分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして十分な換気をおこなってください。この器具は強制排気式（FF式）ではありませんので換気が必要です。



### 水ぬれのご注意

- 器具に水は禁物です。花びんをのせたり、水のかかる所で使用しないでください。内部が水でぬれますと、腐食することがあるばかりでなく、漏電・火災の危険があります。



### 異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのまま使いにならず、直ちにご使用をやめ（運転スイッチ、ガス元せんを止め）十分な点検をお願いします。（故障・異常の見分け方と処置方法については15ページをお読みください。）

### 日常の点検・手入れ

- 日常の点検・手入れは必ず行なってください。（詳しくは13ページをお読みください）
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

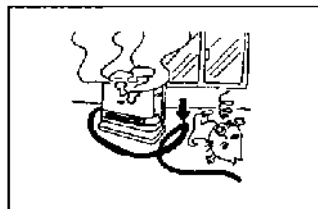
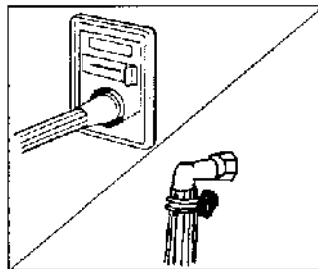
## 器具の設置

### 使用場所についてのご注意

- ご使用になる場合は、3ページの使用場所についてのご注意をお読みください。

### ゴム管の接続

- 「カチット」方式の接続は確実に押しこんでください。
- ゴム管は9.5mmφ（内径9.5mm）のゴム管を使用し、ガス元せん・器具のホースエンドとも赤線まで十分に差し込んで、ゴム管止めでしっかり止めてください。ゴム管止めでしっかりこめていないと、知らずにはずれかかってガスもれが生じることがあり危険です。
- ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないように、できるだけ短かくし（3m以内）、また器具の下を通したり器具に触れたりしないようにして使用してください。



- ゴム管の器具接続や、元せん接続に、「カチット」を接続すれば、接続が簡単で便利になるだけでなく、不十分なゴム管接続によるガスもれを防ぐことができます。
- ガスコード（強化型小口径ガスホース）は、13A器具のみ使用可能です。

## 器具の設置②

- ゴム管は良質のものを用い、使用3年位をめやすにとりかえてください。ゴム管が古くなりまると、ガス元栓や器具のホースエンドから抜けやすくなったり、ヒビ割れてガスもれの原因になり危険です。



## 使用手順

### はじめてお使いのとき

はじめてお使いのときや、しばらくお使いにならなかつたあとなどは、ゴム管内に空気が入っているため、点火するまでに時間がかかることがあります。点火するまでしばらくお待ちください。40秒経たっても点火しない場合は、スパークが止まり運転を停止します。いったん消火操作を行ない、再度点火操作をやりなおしてください。(12ページの消火操作をお読みください)

### 点火前の準備と確認

- 電源プラグを交流100Vのコンセントにしっかりとさしこんでください。

#### <ご注意>

交流100V用コンセントであることを確認してください。200V等の場合、器具がこわれてしまいます。

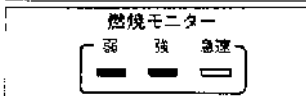
- 運転スイッチの「切」を確認し、ガス元栓を全開にしてください。

#### <ご注意>

ガス元栓が全開になっていないと点火しにくかったり、正常な燃焼ができなくなり、安全装置で消火してしまうことがあります。

## 使用手順②

### 点火



- 点火  
①運転スイッチを「入」にしてください。運転ランプと室温ランプが点灯しスパークが止まります。  
②点火をすると燃焼モニターランプが点灯し数秒後スパークが停止します。

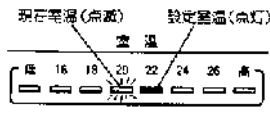
#### ●暖房運転の開始

点火後、1分程して、ルームサーモ(温度調節器)の働きによって、運転状態が自動的に切り替わります。(以後は自動的に行なわれ、手をふれる必要はありません)

#### <ご注意>

室温および温度設定の位置によっては、強燃焼のままでも切り替わらないこともあります。室温が低いとき、温度設定が「高」側のときなど、まだ、点火したあとやルームサーモ(温度調節器)が作動したあとおよび熄火したあとに「チリチリ」と金属音がすることがあります。これは燃焼室部分の金属が膨張収縮する際の音で異常ではありません。

### 温度調節



△調節



- 温度調節スイッチ △(下げる)、▷(上げる)を押し、お好みの室温に調節してください。

①「低」から「高」の間は約4~36°Cの範囲で温度調節できます。数字を目やすにお好みの位置にセットしてお使いください。「低」では14°C「高」では36°Cに調節します。

②設定された室温は設定室温ランプが点灯して表示します。

③ルームサーモ(温度調節器)の働きにより「弱」燃焼、「強」燃焼の切替えて自動的に室温を一定に保ちます。

④室温は室温ランプが点滅してお知らせします。

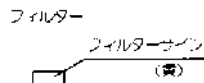
⑤点火後1~2分は室温に関係なく「強」燃焼を行ないます。(急速時は急速運転をします。)この間は温度調節スイッチを操作しても「弱」燃焼にはなりません。

### 使用手順③

#### <ご注意>

温度調節スイッチのセット温度は、ルームサーモ感温部の温度です。部屋の温度計とは必ずしも一致しません。あくまでもめやすと覚えてください。部屋の構造、外気温、使用位置によっては、お好みの温度にならない場合があります。また、「熱」感焼になってもお部屋の温度が上がっていきませんので、このときはいったん運転を停止してください。

### フィルターサイン



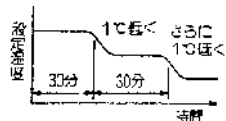
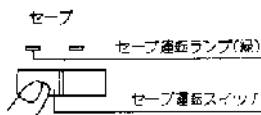
- 運転中にフィルターサイン(黄色)が点滅する場合があります。

これは「エアフィルター」、「温風吹出口」にほこりがたまっていき、障害物で温風の出口や、入り口が塞がれざりしているためです。3ページの「お手入れ」の項を参照して、掃除をしてください。

#### <ご注意>

フィルターサインはほこりの掃除を促すためのランプです。安全装置ではありませんので、点滅しても器具は運転を停止しません。しかし、この状態のまま長く使用すると異常過熱の原因となって運転が自動的に停止することがあります。

### セーブ運転



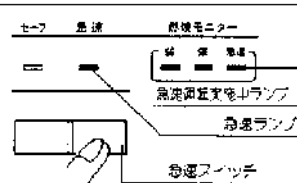
- セーブ運転スイッチを押してください。
- ①セーブ運転ランプ(緑色)が点灯します。
- ②お部屋の温度が設定温度になるとセーブ運転システムが作動し、30分後自動的に1℃温度をさげます。
- ③さらに、30分後に1℃温度をさげます。

#### <ご注意>

温度調節と同様に、部屋の構造、外気温、湿度等によっては、実際に温度が下がらない場合があります。

### 使用手順④

### 急速運転



- 急速運転は、寒い朝一番にお部屋の温度を早く返るために運転します。これは運転開始から15分以内に現つて定格(表示のガス消費量)より大きな能力を出して運転するものです。(0~20%アップ)

①急凍スイッチを押してください。急凍ランプ(赤色)が点灯します。

②お部屋の温度が温度調節スイッチでセットした温度より低い場合、かつ運転開始から15分以内であれば、急速運転を開始し、燃焼モニター「急凍」ランプが点灯します。

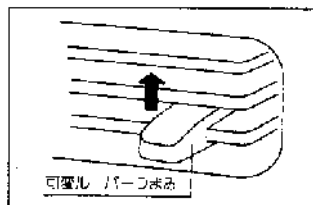
#### <ご注意>

急凍スイッチの上方の急凍ランプは、急速機能を使用するかどうかの選択の有無を表示しています。

実際の急速運転は、運転開始からの時間や、お部屋の温度によっては実施しない場合もあります。

なお、急速運転は一度終了すると再度運転はしません。1回の運転操作で一度だけです。再度急速運転を行ないたい場合は、一旦消火し、再度点火操作が必要です。

### 可変ルーバーつまみ

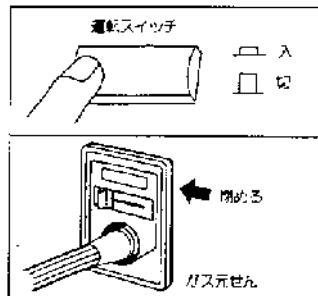


- 可変ルーバーつまみの操作により吹出しからの風向きが切り替わります。つまみを下げた位置にしますと水平方向へ、上げた位置にしますと約10°上方へ風が吹出します。

### 記憶機能

- 一度セットした設定温度、セーブ運転、急速運転はマイニングが記憶しています。電源プラグを抜いたり、停電した時は記憶が解除されます。再度設定操作をしてください。

## 消 火



①運転スイッチを押し「切」にしてください。

②各ランプ類は消えますが、対流ファンは数分置回転し続けてから停止します。機器内の温度が低くなるまで風で冷却しているためです。この間は電源プラグを抜かないでください。

③ご使用後は、必ずお部屋のガス元せんを閉めてください。

### <ご注意>

使用中、電源プラグを抜いて消火したり、お部屋のガス元せんの操作による消火はしないでください。

### ●消火後の再点火

消火後すぐに再点火するときは、1分程してから行なってください。また必要以上に点火・消火をくりかえさないでください。着火音が大きくなったり、器具が過熱することがあります。また使用中、誤って電源プラグを抜いて消火してしまった場合は、運転スイッチを押しなおして「切」にしておいてください。

## 停電時の処置

### ●停電時の処置

停電になったときは、運転スイッチを「切」にもどり、ガス元せんを上めておいてください。

### ●停電後の再点火

ガス元せんを全開にし、通常の点火操作を行なってください。

### <ご注意>

○使用中停電になったとき対流ファンが止まるため、本体上部が過熱します。本体上部にふれないでください。(すぐに再通電したときは、対流ファンだけ回り過熱をふせぎます。)

○運転スイッチが「入」のままで、停電が復帰したときは、運転ランプと室温ランプが点滅しますが、再運転はしません。

### ●雷時の処置

雷時は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 日常の点検・手入れ

### 点検・手入れの際のご注意

点検・手入れについては、下記の日常の点検以外はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。

点検・手入れ前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行なってください。また電源プラグを抜いてから行なってください。

### 点 検

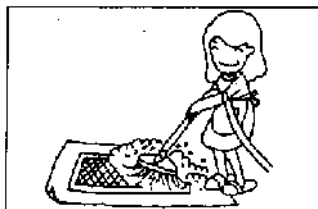
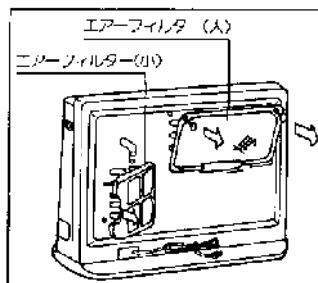
- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびガス元せんともホースエンドの赤線まで十分差し込んであるか点検してください。
- ゴム管が古くなったり、ひび割れたり、差し込み口がゆるんでいるためにガスが漏れていないかときどき石けん水などで点検してください。
- 器具の近く、紙・プラスチック・油類など燃えやすいものが置いてないか点検してください。

### お手入れ

### ●エアフィルターのお手入れ

エアフィルターは1ヶ月に1回程度掃除してください。

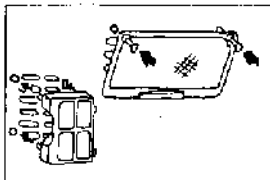
「フィルターサイン」が点滅するときは運転をとめてから、すみやかに掃除してください。フィルターにゴミやホコリがたまると風量が落ちて暖房効果が垂くなるばかりでなく異常過熱や安全装置の作動の原因になります。エアフィルターは、電気掃除機などでよく掃除してください。汚れのひどいときは、洗剤を使って水洗いした後、十分乾燥させてください。エアフィルター(小)の中にある樹脂筒の水洗いはおまけください。





## 日常の点検・手入れ②

- エアフィルター(大)は、2コのボタンを手前に引くとはずれます。取付けは、下部のフィルター受けに差し込んでから、2コのボタンを取付穴に合わせて押し込んでください。
- エアフィルター(小)は、取手を手前に引くとはずれます。取付するときは、中に樹脂端を入れ、ツメ2ヶ所を差し込み取手取分を押し付けて取付けてください。



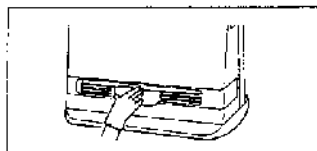
## 器具外装のお手入れ

- やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってからふいてください。汚れがひどいときは、液状の洗剤を布にふくませて汚れをおとしてください。このときは、洗剤をよくふきとってください。

### <ご注意>

金属たわし、みがき砂などは使用しないでください。またベンジン、シンナーなど揮発性のものは絶対に使用しないでください。キズがついたり色があせたりします。

- 温風吹出口に白い粉が着ることがありますが異常ではありません。器具が冷えてから、やわらかい布でふきとってください。ふきとるときには表面などで手をきらない様、手ぶくろをするなど、ご注意ください。



- 温風吹出口にほこりのつまりがひどい場合は、掃除機などでとり除いてください。この場合は対流ファンが完全に止まってから掃除してください。

### <ご注意>

エアフィルターを外した場合、器具内部には温度の高い部分があります。お手入れは器具が冷えてからおこなってください。また使用中は必ずエアフィルターをとりつけてください。使用中に器具内部に手をふれると、やけどや感電のおそれがありますので、お子様などにはじゅうぶん注意してください。

## 故障・異常の見分け方と処置方法

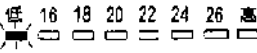
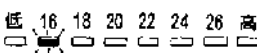
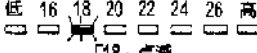
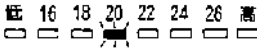
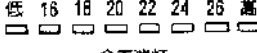
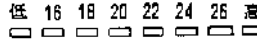

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

原因	現象						処置方法	参照ページ
	スパークプラグがはがれ	火花が飛んでいる	ガスが臭いが強い	煙	排出口から炎がでる	部屋の暖まりが悪い		
電源プラグが差し込んでない	○	○					電源プラグを確実に差し込み	6
ガス元せんの開き忘れ・開き不十分		○	○	○		○	ガス元せんを全開にする	8
ゴム管内に空気が残っている		○	○				点火操作をくり返してください	8
ゴム管の接続が不完全			○				確実に接続する	7, 8
ガスの層が薄う		○	○	○	○	○	本体設置の距離を確認してください	2
ゴム管が長すぎる ゴム管の折れ曲がり・つぶれ		○	○	○		○	不具合を除き再点火してください	3, 7
ゴム管のひび割れ・穴あき			○				ゴム管を交換・先を切りつめる	8
サーモが低温になっている						○	リモコンの設定より室温が高いため「暖」状態になっている。温度調節スイッチが「高」になっている	10
換気が不十分である					○		30分に1回1分程度換気する	16
フィルターが詰まっている 吹出口に障害物がある 吹出口にほこりづまりが多い			○		○	○	日常の点検手入れを実施してください。障害物を除去し換気してください。	13, 14
点火(燃焼を開始)したばかりである					○		点火時、少し臭うことがあります	
スパーク装置の故障(コード外れなど)	○	○					点検修理を依頼する	
安全装置が作動した	○	○		○	○	○	点検修理を依頼する	16

- 処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

# 使用時のご注意

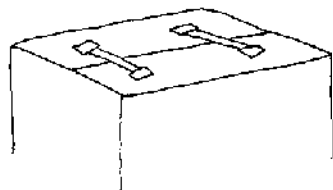
## 安全装置が作動したときの処置方法

安全装置	動き	安全装置作動時の表示		原因	処置方法
		至 温 ラ ン プ			
不完全燃焼防止装置	不完全燃焼をする前に燃焼を停止する安全装置です。	低 16 18 20 22 24 26 高 		ガスが正しく燃えるためには、ガスの6～10倍もの空気が必要です。しめきつて部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼して、一酸化炭素を発生する危険があります。エアークリナーがつかっても同様です。	十分部屋の換気を行ない、エアークリナー部の掃除を行なった後、再点火してください。
消火センサー (安全装置)	使用中にバーナが消えた場合に安全装置が動き、生ガスの放出を防止します。	「低」点滅 「フィルターサイン」点滅		ガス元せんが開き足りなかったときや、強い風が吹いたときなどに作動します。	点検後、再点火してください。
	点火時、バーナに着火しなかったときなどに安全装置が動き、生ガスの放出を防止します。	低 16 18 20 22 24 26 高 	「16」点滅	ガス元せんが開き足りなかったときなどに作動します。	点検後、再点火してください。
転倒時ガス遮断装置	器具が転倒した場合、激しい衝撃が加わったときなどに作動して点火します。	低 16 18 20 22 24 26 高 	「18」点滅	点火したまま、器具を持ち運んだり、器具に衝撃を加えた場合、また転倒した場合に作動します。	いったん運転スイッチを「切」にもどし、再点火してください。
ハイリミットスイッチ (過熱防止装置)	エアークリナーが目づまりしたり、温度吹出口に障害物があったりした場合には器具内が異常に過熱します。この場合、自動的にガス通路を閉じ消火します。	低 16 18 20 22 24 26 高 	「20」点滅	エアークリナーが目づまりしている。温風吹出口に障害物がある。	エアークリナー部の掃除や、障害物を取り除いた後、しばらく(5～6分)してから再点火してください。(電源プラグは対流用ファンが回っているあいだは抜かないでください。)
過熱防止装置 (温度ヒューズ)	万一異常過熱したときに、温度ヒューズが切れて消火します。			異常過熱状態になった。	器具を冷やしても再点火できません。修理が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。
電流ヒューズ	ご使用中になんらかの原因で過電流が流れると、電流ヒューズが切れて、使用できなくなります。	低 16 18 20 22 24 26 高 	全て消灯	電気回路がショートした。	
停電安全装置	安全装置が作動し、運転を停止します。停電後、自動的に再運転されても再点火しません。	低 16 18 20 22 24 26 高 	(停電) 全て消灯  (再過電) 全て点滅	停電した。	停電中は必ず運転スイッチを「切」にもどし、ガス元せんを閉じておいてください。 「2ページ」の「停電時の処置」をお読みください。

＜ご注意＞ 安全装置が作動したあと、点検して再点火しても、たびたび同じように作動をくりかえすような場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

## 長期間使用しない場合

- 各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニルをかけて、高床めになったときの箱に入れ、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分（ホースエンド）などこまほこりが入って通路をつまらせないようにご注意ください。保管場所は、高温になる所や、直射日光のあたる所はさけてください。
- なお梱包の際は付属のバンドを下記の要領で使用してください。



## アフターサービスのお申し込み

### サービスのお申し込み

- 15ページの「故障・異常の見分け」と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで、お買上げの店またはお買上げの大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをご知らせください。

- (1) 品 名……(ファンヒーター)
- (2) 品 番……左側面下部に貼付してあります。  
(例)

(N)43-704 (U)

大阪ガス株式会社 04

- (3) 現 象……(できるだけ詳しく)
- (4) 通 信……(できるだけ詳しく)

### 転居される場合

- ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区別があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買上げの店またはお買上げの大阪ガス支社にご相談ください。この場合契約・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
- 電源周波数が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要となります。この場合に要する費用は保証期間内でも有料となります。

### 保証書について

- この器具には保証書がついています。このファンヒーターは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

## 点検整備のおすすめ(有料)

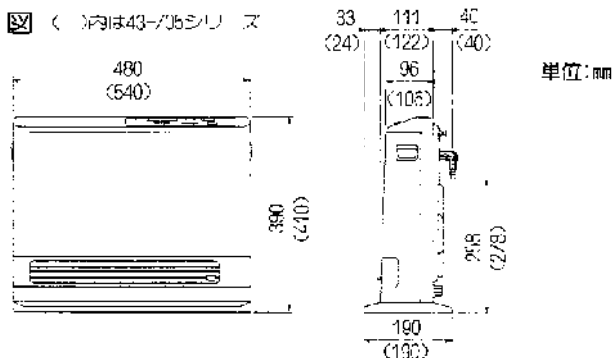
- 長期間、安全快適にご使用頂くために定期的に(3シーズンに1回程度)「点検整備」を受けられることをおすすめします。
- 「点検整備」は、お買い上げの販売店または最寄りの大阪ガス支社にご予約ください。(有料)
- 「点検整備」の内容は、下記の通りです。
  - ① 機能部品の点検、確認
  - ② 清掃整備

## 特 長

- 1 設置工事が不要で手軽に温風暖房機の快適さが得られます。また使用場所の移動が可能です。
- 2 暖房効果のよい温風下吹き出しにより、お部屋を早く暖める急速暖房機能を備えています。
- 3 ルームサーモ(温度調節器)により、「強」「弱」の2段階燃焼を制御し、設定温度と現在の室温表示により、むだのない暖房ができます。
- 4 換気不足や、フィルターほこりつまり時に、自動的に燃焼をストップさせる不完全燃焼防止装置付きです。万一を考慮した安全設計です。
- 5 セーブ運転機能をもっていますので維持費の低下がはかれます。
- 6 フィルターサインにより、エア フィルターの掃除忘れをお知らせします。
- 7 プッシュボタン式のワンタッチ点火と、見やすいパネル表示により操作方法は簡単です。
- 8 可変ルーバーつまみにより、吹き出し角度を切替えることができます。

## 寸法図と仕様一覧表

寸法図 ( )内は43-706シリーズ



単位:mm

項目	43-704型シリーズ				43-706型シリーズ			
	都市ガス 5C	都市ガス 13A	都市ガス 6A	LPGガス	都市ガス 6C	都市ガス 13A	都市ガス 6A	LPGガス
ガス消費量(kcal/h)	2100	2100	2100	0.18kg/h	3000	3000	3000	0.26kg/h
暖房のめやす	6~9畳(10~15㎡)				8~12畳(10~20㎡)			
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行き)	390×480×96 (高さ×幅×奥行き)				410×540×106 (高さ×幅×奥行き)			
重量(kg)	8.2				9.4			
電気消費量(W)	総/強/弱 35/33/30				総/強/弱 32/30/25			
接続ガス	9.5mmガス用ゴム管							
接続電圧	AC100V、50Hz(電源コード長さ1.8m)							
燃焼方式	アンゼン燃焼式							
給排気方式	開放式							
放熱方式	強制対流式							
点火方式	電源スイッチ点火式							
安全装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消火センサー</li> <li>○不完全燃焼防止装置(サーモカップル)</li> <li>○過熱防止(温度ヒューズ、サーミスタスイッチ)</li> <li>○電気ヒューズ</li> <li>○停電安全装置</li> <li>○瞬間停ガス遮断装置</li> </ul>							

### おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)、大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。